

今年は桜の開花も速まる予報で、熊も冬眠しそこねているとか。そんな穏やかな日和に、連日のコロナニュース。あけぼのでは、いつにも増して手洗いを徹底し、体調管理を厳格に行っています。休日を含め、不要不急の外出はせず、自身が感染源にならないよう最大限尽力しています。こどもを預けざるを得ない皆さんの不安を思うと胸が痛みます。喘息や気管支炎、ゼイゼイするなど、呼吸器系の弱い子、免疫の低い子は、なおさら不安なことでしょう。全職員、今できることを可能最大実行し続けます。みなさんも引き続き、感染拡大防止のご協力をお願いします。さて今月は「感染防止の基本の「き」」そして年度末にふさわしい「今年度の振り返り」をお届けします。

## あけぼのトピックス

中野区ではインフルエンザが再燃しつつあります。あけぼのは、熱や呼吸器症状、花粉症症状の子が増えています。

### 感染防止 基本の「き」

これは厚生労働省の大臣記者会見時配布資料から抜粋したものです。

#### << 感染経路の特徴 >>

- ・これまでに国内で感染が明らかになった方のうち、8割の方は、他の人に感染させていません。
- ・一方、スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。このように集団感染の共通点は、特に「換気が悪く」「人が密に集まって過ごすような空間」「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

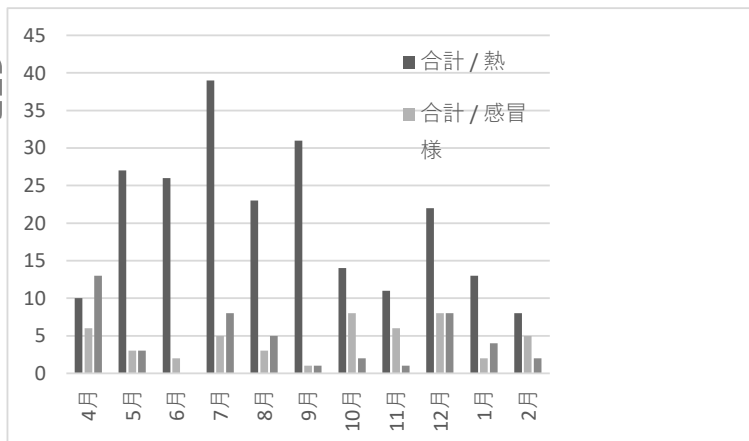
#### << 国民の皆さまへのお願い >>

- ・換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- ・イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらずその開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、風通しの悪い空間をなるべく作らないなど、イベントの実施方法を工夫してください。

これからもわかるように「換気」は要です。保育園は常日頃から換気の良い場所ではありますが、いつも以上に換気を意識し、窓を開けています。また、通勤電車での換気は、なかなか難しい雰囲気のことも多いと思います。できるならば、各停や空いた車両を選ぶことをお勧めします。

#### あけぼの保育園の今年度の感染症

ゴールデンウィーク前に胃腸炎が流行し合計24名が嘔吐や下痢の症状を呈しました。保健所の指導も仰ぎ、長期休暇の恩恵もあり、休み明けには鎮静していました。7月前後の発熱者増加は、手足口病と伝染性紅斑（りんご病）の流行に伴うものです。インフルエンザは12～1月25名、2月に1名の感染者がいました。



## こどもたちの成長発達

この一年、こどもたちはどれくらい大きくなったでしょうか。「成長が悪い気がする」「太り過ぎていないか」という不安な声は多いです。低身長や痩せ気味などが心配な場合は、次のような点をチェックしてみましょう。

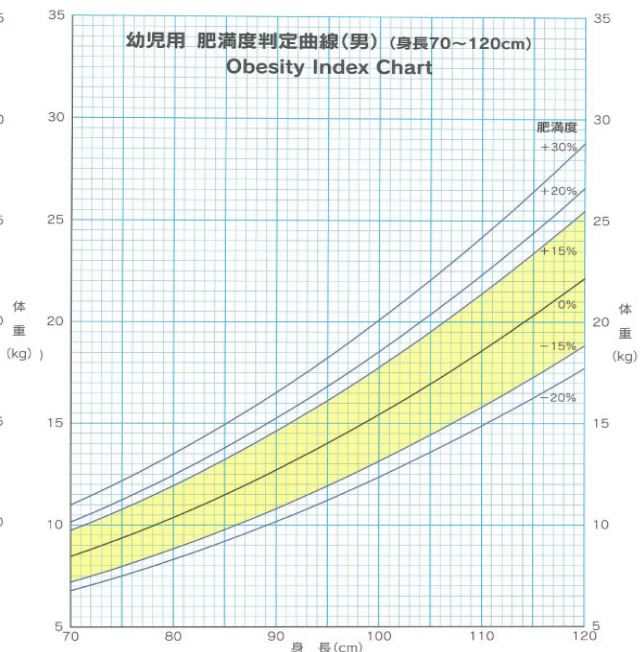
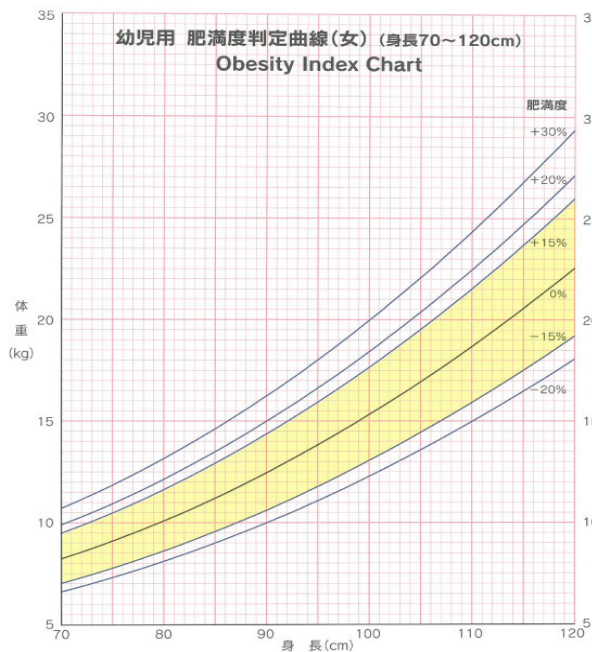
- ・ 成長曲線のグラフが、下限ギリギリの推移か。あるいは下回っているか。
- ・ 1年の、身長の伸びが4 cm 以下か。

これらに該当する場合は、まず小児科を受診し、専門外来を紹介して貰いましょう。思わぬ原因が見つかることもあります。

肥満が不安な場合は、次のようなグラフをチェックしてみましょう。

インターネットで、「こども 肥満度」「小児 肥満度判定曲線」等 検索すると、すぐに計算できるツールが多く出てきます。「日本小児内分泌学会」のページは、やや専門的ながらも、分かり易いと思います。

下のようなグラフで上限を超えている場合は、まず小児科を受診してみましょう。決して独自の判断でダイエットをさせないでください。後々の成長発達に多大なる悪影響を及ぼします。



## 3月号、いかがでしたか？

こどもの成長は本当に早いものです。この一年、体調を崩し易かった子ども、入園後、1年、2年経つと強くなります。いろんな病気をすることにより免疫をつけ、身体の中も成長していきます。今回のように「新型」と名の付く感染症が流行すると、まだまだ未熟なこどもたちの感染が最も心配になります。特に、呼吸器系の症状が強い子、症状が強い・長引く、身体が弱っている、免疫力が低下しているなどの場合、感染症にかかり易くなります。受診して、症状を緩和させ、感染防止できる状態を支えてあげましょう。日常では、規則正しい生活という「あたりまえ」を積み重ね、それが感染症に打ち勝つ身体をつくれます。それが最も大切なことなのです。

進級されるみなさん、今年度もよろしくお祈いします。卒園のみなさん、一年間ありがとうございました。